

I 第30週の発生動向 (2016/7/25~2016/7/31)

1. 伝染性紅斑については、東地方保健所+青森市保健所管内において**警報**が続いています。
2. 八戸保健所管内では、引き続きA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数が多い状態が続いています。
3. ヘルパンギーナについては、青森県全体の定点当たり患者報告数が、前週の0.29から0.79に増加しましたが、特に東地方保健所+青森市保健所管内、弘前保健所管内で増加しています。
4. 流行性耳下腺炎については、東地方保健所+青森市保健所管内で定点当たり患者報告数が増加しました。

II 第30週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ															0
小児科	RSウイルス感染症					6	0.60			1	0.17			7	0.17	1
	咽頭結膜熱	5	0.63			3	0.30	4	0.80			1	0.25	13	0.31	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.38	5	0.56	47	4.70	1	0.20	2	0.33	6	1.50	64	1.52	17
	感染性胃腸炎	21	2.63	13	1.44	32	3.20	18	3.60	6	1.00	6	1.50	96	2.29	2
	水痘	1	0.13			1	0.10	2	0.40			5	1.25	9	0.21	-5
	手足口病	3	0.38	1	0.11	1	0.10							5	0.12	-3
	伝染性紅斑	15	1.88			1	0.10							16	0.38	-4
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	8	0.80	1	0.20	2	0.33	2	0.50	18	0.43	-1
	百日咳									1	0.17			1	0.02	1
	ヘルパンギーナ	12	1.50	11	1.22	4	0.40			6	1.00			33	0.79	21
流行性耳下腺炎	17	2.13	1	0.11					1	0.17	1	0.25	20	0.48	9	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	4	2.00	1	1.00					7	0.64	1
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										2	2.00		2	0.33	-2
	無菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	-1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

■は警報、■は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、八戸1人、五所川原2人、上十三1人 (2016年計:174人)
- ・つつが虫病(四類全数把握疾患): 弘前1人 (2016年計: 5人)
- ・水痘(入院例)(五類全数把握疾患): むつ1人 (2016年計: 3人)

IV 病原体検出情報

※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・無菌性髄膜炎患者(糞便、7/1): マイコプラズマ: 青森市1人
- ・下気道炎患者(咽頭ぬぐい液、7/3): ヒトライノウイルスA: 八戸1人、ヒトライノウイルスC: 青森市1人
- ・その他の患者(咽頭ぬぐい液、7/1): ヒトライノウイルスA及びヒトヘルペスウイルス6B: 八戸1人、ヒトライノウイルスA: 青森市1人、ヒトヘルペスウイルス7: 青森市1人

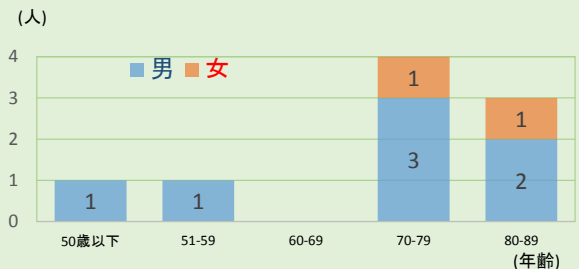
感染症の窓

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (五類全数把握疾患)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(以下CRE)感染症は、抗菌薬であるカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症です。

CREは、感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こし、院内感染の原因にもなります。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報によると、全数把握となった2014年9月から2015年8月までの期間に、全国で、1,321例の届出があり、性別では男性が822例(62%)と女性より多く、年齢別では65歳以上が1,020例と全体の77%を占めました。青森県内では、2016年は第30週までに9人の患者報告があり、性別では男性7人、女性2人と男性が多く、年齢別では65歳以上が7例と全体の約8割を占めています(図)。※ 詳しくはこちらをご覧ください。→ [国立感染症研究所 HP](http://www.niid.go.jp/niid/)



V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第20週～2016年第30週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
20	H28.5.16 ~ H28.5.22			A型肝炎1人			
21	H28.5.23 ~ H28.5.29			A型肝炎1人 つつが虫病1人		侵袭性肺炎球菌感染症1人	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5						
23	H28.6.6 ~ H28.6.12			後天性免疫不全症候群1人			
24	H28.6.13 ~ H28.6.19	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病2人	
25	H28.6.20 ~ H28.6.26			梅毒1人			
26	H28.6.27 ~ H28.7.3					レジオネラ症1人	
27	H28.7.4 ~ H28.7.10		梅毒1人			水痘(入院例)1人	
28	H28.7.11 ~ H28.7.17		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
29	H28.7.18 ~ H28.7.24	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	E型肝炎1人	梅毒1人			
30	H28.7.25 ~ H28.7.31		つつが虫病1人				水痘(入院例)1人

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016年第20週～2016年第30週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
20	H28.5.16 ~ H28.5.22			4		1	
21	H28.5.23 ~ H28.5.29		1	3		2	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5	1	3		1	2	
23	H28.6.6 ~ H28.6.12	2	1	1			
24	H28.6.13 ~ H28.6.19	2		2	1		1
25	H28.6.20 ~ H28.6.26	1	6	2			
26	H28.6.27 ~ H28.7.3	1	3	4		1	
27	H28.7.4 ~ H28.7.10	1	3	1	2	2	
28	H28.7.11 ~ H28.7.17	2	1		2	1	
29	H28.7.18 ~ H28.7.24		4	2	2		
30	H28.7.25 ~ H28.7.31	1		1	2	1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注:発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第29週累計)

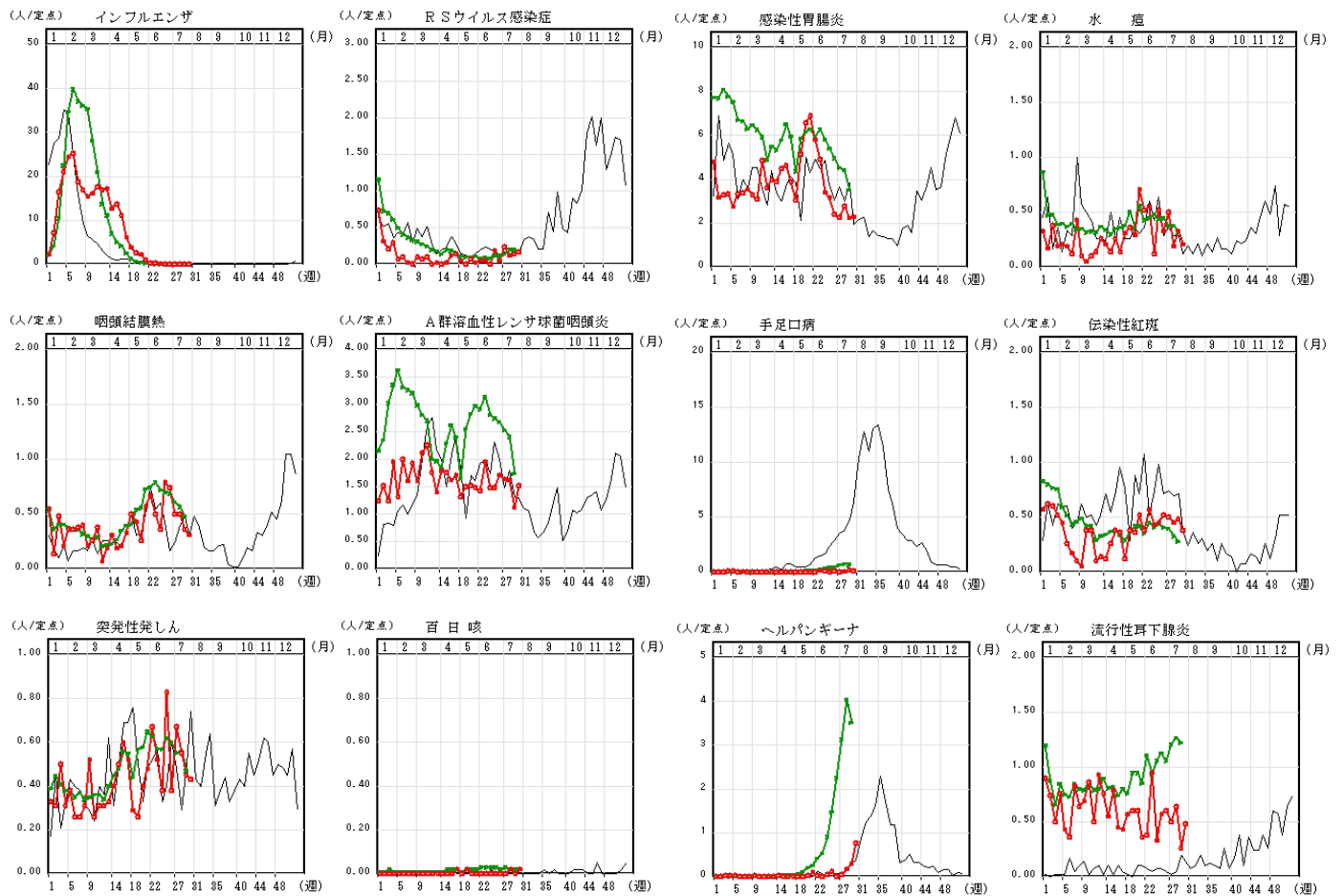
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類			
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリノス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	12233	3	67	922	29	9	227	177	11	4	2	2	7	32	3	81	163	84	2	23	2	658	4	609	130
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	腸管出血性大腸菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザウイルス感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	帯状疱疹	破傷風	ハンコマイシン耐性腸内細菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症							
累積報告数	710	468	6	89	276	734	31	181	26	1611	166	2121	65	62	23	83	10	18							

青森県 (2016年第1週～第30週累計)

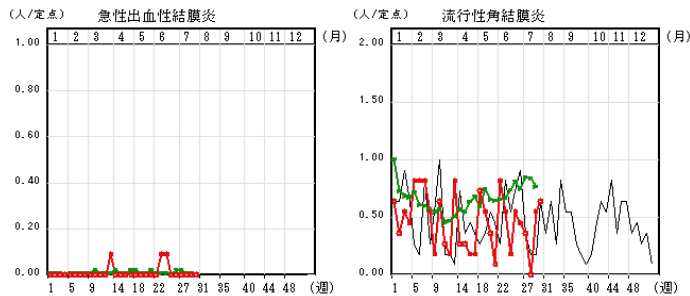
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒		
累積報告数	174	2	5	3	1	5	3	2	9	1	2	1	1	4	3	9		

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第30週、但し全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第30週、但し全国は前週)



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第30週、但し全国は前週)

